



美しい森林づくり推進国民運動



経団連自然保護協議会
事務局次長の半谷順さん



「フォレスト・サポーターズ」、「生物多様性民間参画パートナーシップ」
「協働宣言」調印式

「フォレストサポーターズ」、「生物多様性民間参画パートナーシップ」
「協働宣言」調印式(平成23年2月14日)



埼玉県飯能の「西川材」で
つくられた宣言ボード

今日からやろう！森のための 4つのアクション

自然保護活動をスムーズに行える 環境づくりをサポート

— 経団連自然保護協議会 —

「経団連自然保護協議会」は、アジア太平洋地域を中心にNGOが行う自然保護プロジェクトを支援しています。

「国際森林年」を迎え、国民みんなで森林を支えようという「フォレスト・サポーターズ」と、企業を中心に生物多様性活動呼び掛けている「生物多様性民間参画パートナーシップ」において相互連携・協働による相乗効果の高い運動を展開することを目的として、平成23年2月に国土緑化推進機構、美しい森林づくり全国推進会議と協働宣言を締結し、広報・教育・普及啓発(CIEPA)を中心とした各事業実施に係る相互連携協力を推進しています。経団連自然保護協議会事務局次長の半谷順さんにお話を聞きました。

生物多様性民間参画パートナーシップ

経団連自然保護協議会が推進する「生物多様性民間参画パートナーシップ」は、「愛知目標」の実現に向けて、事業者同士がNGO・研究者・公的機関など様々な関係者を交えて情報共有、経験交流を図り、生物多様性保護活動の取組を促進するプラットフォームです。

今回の協働宣言を契機に、これまでの活動の裾野を広げるため協議会は「フォレスト・サポーターズ」に、国土緑化推進機構は「生物多様性民間参画パートナーシップ」にそれぞれ参加することになりました。

森林づくり活動の連携、情報交換

連携活動の第一弾は「国際森林年」キックオフ記念として、2月14日に森づくりなどに取り組み関

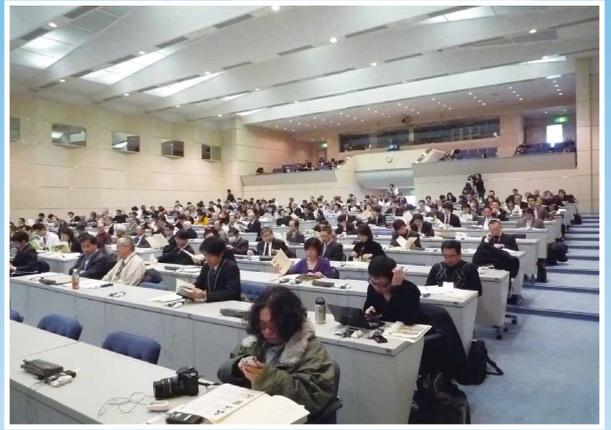
森と暮らそう



支援プロジェクト現地視察(ボルネオ島)



支援プロジェクト現地視察/記念植樹(中国)



「国際森林年」キックオフ記念フォーラム(平成 23 年 2 月 14 日)



COP10 での「生物多様性民間参画パートナーシップ」発足式(平成 22 年 10 月 26 日)

森にふれよう

木をつかおう

森をささえよう

経回連自然保護協議会の活動
協議会は、NGO等の自然保護プロジェクトに対する支援、企業への啓発活動、企業とNGOのパートナーシップづくりを3本の柱として、活動しています。
活動支援は企業や個人からの寄付をベースに資金援助活動を行うとともに、一部の活動については、現地視察を行い、会員企業へ報告しています。これまでに東南アジアの原生林保護や、ブラジル・パラグアイで

係者が一同に介した「美しい森林づくり企業・NGO等交流フォーラム」を開催しました。第二弾は、7月4日に第5回美しい森林づくり全国推進会議と併催して、「東日本大震災の復興」や「グリーン・エコノミー」などをテーマに『国際森林年記念』シンポジウムを開催しました。今後は、年内に共催イベントを行うことを検討しています。また、会員同士の交流として、「フォレスト・サポーターズ」、「生物多様性民間参画パートナーシップ」の会員が、相互に参加できるように働きかけも考えています。

今後の活動
協議会としての目標はCOP10で採択された「愛知目標」の実現です。それには生物多様性保護、森林再生などの取組を社会運動として拡大させることはもちろん、企業や個人を問わず自然保護に関心のない人も、参加できるように仕組みづくり(これが究極の「グリーン・エコノミー」?)が必要と考えています。また、東日本大震災復興に向けた支援も検討しています。

の日系人による植林事業、兵庫県豊岡市でのコウノトリ保護活動などの視察を行ってきました。
啓発活動としては平成21年発表の「日本経回連生物多様性宣言」において、資源の循環的利用、認証商品の使用などについて明記したこともあり、各企業の生物多様性への認識が高まってきています。
また、自然保護活動を行うNGOと企業との橋渡しを行うためのネットワーキングづくりにも取り組んでいます。
自然保護プロジェクトにおけるアグロフォレストリー、森林再生や植林プロジェクトなどは「フォレスト・サポーターズ」の活動に通じるものも多く、協議会のこれまでの活動の継続が「森林を支えていく」というところにつながると考えています。